



通知票の見方

(2, 3年生の皆さんも再確認してください)

中学1年生にとっては「**5から1の数字で評定がつく通知票**」は初めてのことだと思います。小学校の時には各教科4～5つの観点があり、それぞれ「大変よくできました・よくできました・がんばりましょう」が○で示されていたはずですが。中学校ではそれに加えて「**数字(5, 4, 3, 2, 1)での評定**」があります。それらの評価・評定の概要をお伝えします。

評価に使う**材料**は大きく分けると次の3種類です。

- ① 中間・期末等の**テストや実技・作品の成績**
- ② 授業への**参加状況・態度・意欲や発言**の状況
- ③ 課題や宿題等の**提出物**の状況

各教科ごとに4～5つある「**学習状況の観点**」の**到達度**を上①～③をもとに評価します。その**評価結果(到達度)**は通知票のそれぞれの欄に・・・

「観定のねらいが十分に達成できている」が◎で

「観定のねらいがおおむね達成できている」は○で

「努力を要する」は**空欄**で表されます。

----- (ここまでは小学校とほぼ同じです。次からが中学校で加わる内容です。) -----

上の**観点ごとの到達度の状況**によって「**数字での評定**」が決まります。

例えば**観点ごとの到達度が全て◎**なら、**基本的にはその教科の評定は「5(大変優れている)」**となり、全て空欄なら「**1(努力を要する)**」となります。

その他の評定(4, 3, 2)については・・・

4 : やや優れている

3 : 普通

2 : やや努力を要する・・・となっています。

なお、極端な例ですがテストや実技が毎回100点満点でも、「授業への集中が今ひとつ」とか「提出物が期日までに提出されない」という場合には「評定5」にはなりません。

今日お渡しした通知票でお知らせするのは「**1学期の評定**」です。最終的には1年間を通しての結果である「**学年末の評定**」が記録として残ります。

今回結果が思わしくなかったという場合には(そうでなくても)2学期に挽回、向上の**チャンスは全員に等しく**あります。ぜひ、通知票の観点別項目の評価も参考にして、不得意分野を洗い出し、夏休みの勉強に取り組んでほしいものです。

1学期の総括

(終業式でこのように話しました)

- ・生徒の皆さんの頑張る表情と笑顔がたくさん見られた「良い1学期」でした。
- ・夏休み中の健康管理に気をつけ、事故なく過ごしてほしいものです。

夏休み明け直後の主な行事

- 8月25日(金) 始業式(元気な笑顔を見るのを楽しみにしています!)
- 26日(土) 市新人陸上大会(～27日)
- 27日(日) 方部連P親善球技大会(勿来二中)
- 28日(月) 学カテスト(3年)、課題確認テスト(1, 2年)
- 29日(火) 市中学校英語弁論大会(市文化センター)
二者教育相談(9月5日まで)